

2023 年度 祥明大學校 短期研修報告書

熊本県立大学 総合管理学部 3年 網田 光瑠

この度、私は9月14日から21日の8日間、韓国の祥明大學校への短期研修に参加させていただきました。私がこの研修に参加しようと思った理由は、韓国の文化や言語に対する理解を深めること、今後のキャリア形成に繋げるための経験を積むことができると考えたからです。研修のプログラムには韓国語講座をはじめ、韓国のあらゆる観光地や伝統文化の鑑賞などとても充実したものがばかり詰め込まれていました。この報告書を通して、私が体験した貴重な経験の数々を皆様にお伝えできればと思います。また、韓国に興味がある方、韓国への短期研修や留学を検討されている方の参考になればと思います。

1日目は、仁川空港に13時頃到着しました。空港では祥明大學校の学生サポーターの方々が出迎えてくださいました。その後高速バスに乗り換え、天安キャンパスに向かいました。夜は祥明大學校の先生方、サポーターの方々で歓迎会を執り行ってくださいました。皆さんが温かく歓迎してくださったことで、緊張が和らぎました。



2日目は、祥明大學校の副総長の方とお会いする時間を設けていただきました。そこでは、貴重なお話をたくさん聴くことができました。昼食はキャンパス内にある学食を食べました。キンパやトッポギなど韓国に来たことを思わせるものばかりが並んでいました。昼食後に韓国語講座を受講しました。この講座では、会計時の支払いの練習を実践形式で行いました。値段を視覚情報に頼らず耳で聞き取ってお金を払う、一見簡単そうなことかもしれませんがとても難しく苦戦しました。この経験を通して、その後の同じ場面でリスニング力が向上したことを実感でき嬉しかったです。



3日目は、早朝に天安を出発しソウルに向かいました。ソウルまではバスと地下鉄を利用して移動しました。韓国の伝統的な衣装である韓服(チマチョゴリ)を着て昌徳宮を散策しました。昌徳宮に着いた時にちょうど王宮守門将交代儀式が行われており、朝鮮時代の格式高い宮中文化を観る良い機会になりました。

4日目は、ソウル市内を巡りました。都心で休日ということもあり、その日はどこに行っても人が多かったです。昼食にカルピタン、ソルビン、夕食にキムチチャーハンやマンドウクツを食べ、韓国料理を堪能した一日になりました。

5日目は、祥明大學校のソウルキャンパスを見学させていただきました。ソウルキャンパスの学生の方々がキャンパスツアーと称して、クイズも交えながらキャンパス内の施設を紹介してくださいました。ソウルキャンパスはとても高い場所にあり、エスカレーターが設置してあったことに一番衝撃を受けました。

午後からは国立中央博物館に行きました。この博物館では、人類が韓半島で暮らし始めた旧石器時代から三国時代、南北国時代、高麗時代から朝鮮と大韓帝国時期までを、多くの展示物や資料を通して理解を深めることができます。私が特に印象に残ったものは、「敬天寺十層石塔」と呼ばれる塔です。高さ13.5メートルほどの石塔で、過去に日本が韓国から持ち出したとされる話もあります。初めて見た巨大な塔が日本と関わりのあるものだったということを知ることができ、とても勉強になりました。

6日目は、ロッテワールドに行きました。屋内と屋外にアトラクションがあるのが新鮮でした。平日でしたが人が多くて2時間待ちのアトラクションもありました。



7日目は、日本語の授業を受講している学生の皆さんと交流しました。私と同じ班になった学生の皆さんは、日本語を学んでいるとはいっても日本人としっかり話をしたことがないという方ばかりでした。初めはぎこちなかったけれど徐々に慣れてきて、私からも日本語と韓国語を使いながら話を投げかけたりして会話を楽しむことができました。短い時間ではあったけれど、色々な話ができ、とても有意義な時間になりました。

その後、今回の研修の成果発表会を行いました。拙いながらも韓国語を交えて発表しました。今回の研修に携わってくださった先生方やサポーターの皆さんに感謝の気持ちが少しでも伝わったのなら嬉しいです。

8日目は、早朝にもかかわらずサポーターの皆さんが付き添って見送りをしてくださいました。一週間という短い期間ではあったけれど、そこで育まれた友情は確かなもので、別れの瞬間はとても辛いものでした。他の国から来た私たちを温かく迎え入れてくれたように、今後韓国の学生が日本に来られたときも、同じように迎え入れたいと強く思いました。

私はこの短期研修を通して、現地に足を運ばないといけない体験をたくさんさせていただきました。また、旅行ではなく研修として韓国に訪問したことで、韓国の大学のリアルを知ることができたり、学生の皆さんとの会話を日常的に楽しむことができたりしたことがとても良い機会になったと感じています。更にこの一週間という短い期間で、多くの方と出会い、交流できたことは、私にとってかけがえのない財産です。この研修で受けた刺激を忘れることなく、今後の生活や学びにも生かしていきたいです。改めてこの研修に携わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。